

# 誰一人取り残さない世田谷をつくろう



令和5年9月7日(木)

(福)世田谷区社会福祉協議会  
自立生活支援課 田邊 仁重

 **ふらっとホーム世田谷**  
生活困窮者自立相談支援センター

# 1 ぱらっとホーム世田谷が行っていること

## ●根拠

生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援センター

## ●対象

就労の状況、心身の状況、地域社会から孤立状況などにより、様々な生活課題を抱えている区民。年齢不問。

## ●対応

生活上の困りごとを一緒に考え、整理し、家計相談や就労支援などの活用や関係機関との連携・協働により、その人らしい生活の実現を支援する。

令和4年4月から「世田谷ひきこもり相談窓口リンク」の相談窓口を運営。メルクマール世田谷と協力してひきこもりの方や家族等の支援を行う。

## 2 ぷらっとホーム世田谷の支援状況

### 自立相談

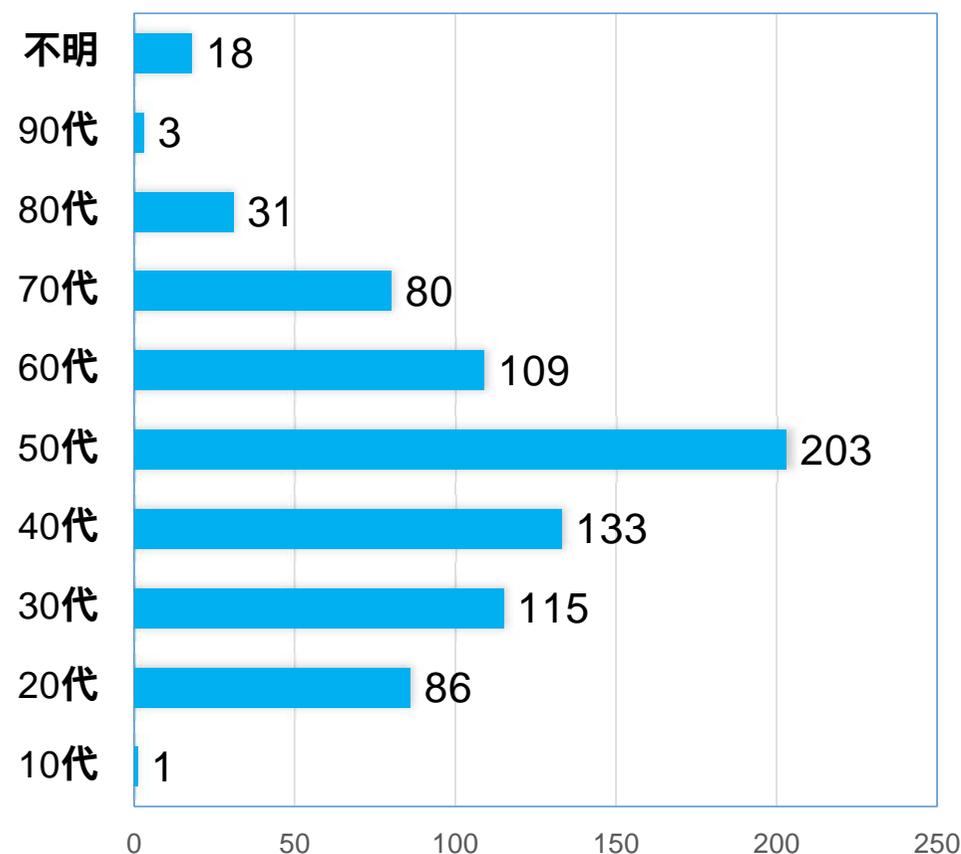
【相談件数】（令和4年度実績）

- 自立相談新規相談件数 1,366件  
うち個別相談に進んだ件数 779件

【特徴】

- 50代の利用者が最も多く26%  
60代～90代で3割弱を占める  
男女で差異はなし
- 相談内容は、生活費、家賃、公共料金の支払や家計に関することが多く次いで就労、病気や障害のこと
- 単身世帯が全体の約半数を占める

《相談者の年齢》



## 2 ぷらっとホーム世田谷の支援状況

### ひきこもり相談窓口「リンク」

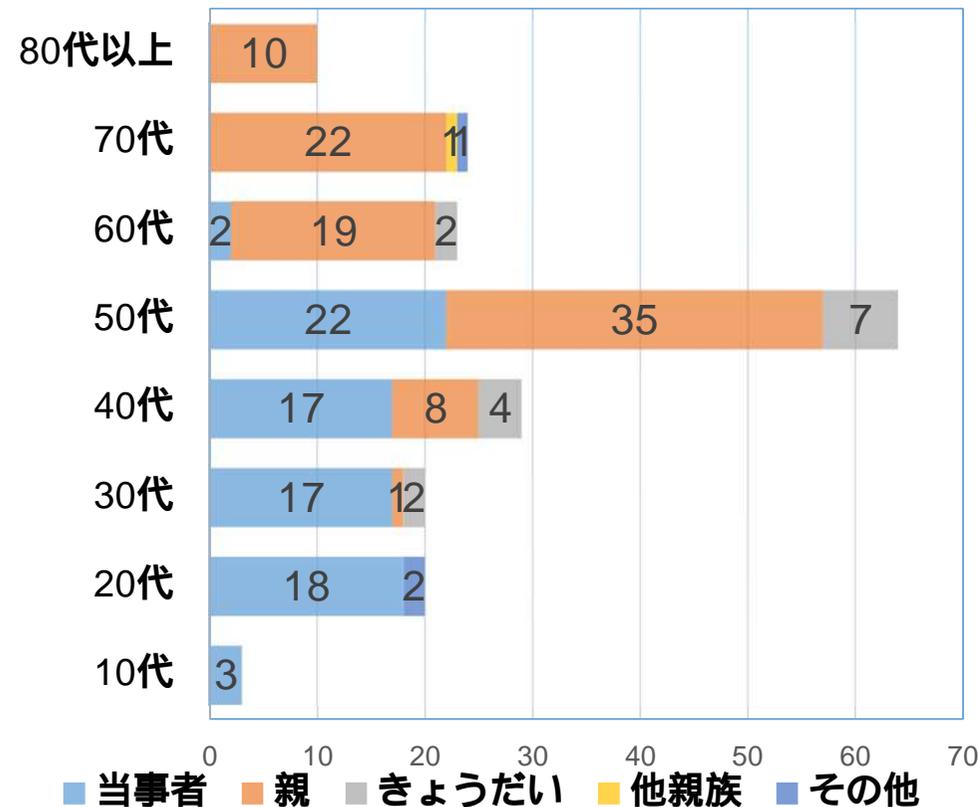
【相談件数】（令和4年度実績）

- 相談者件数 227件  
うち窓口につながった件数 193件

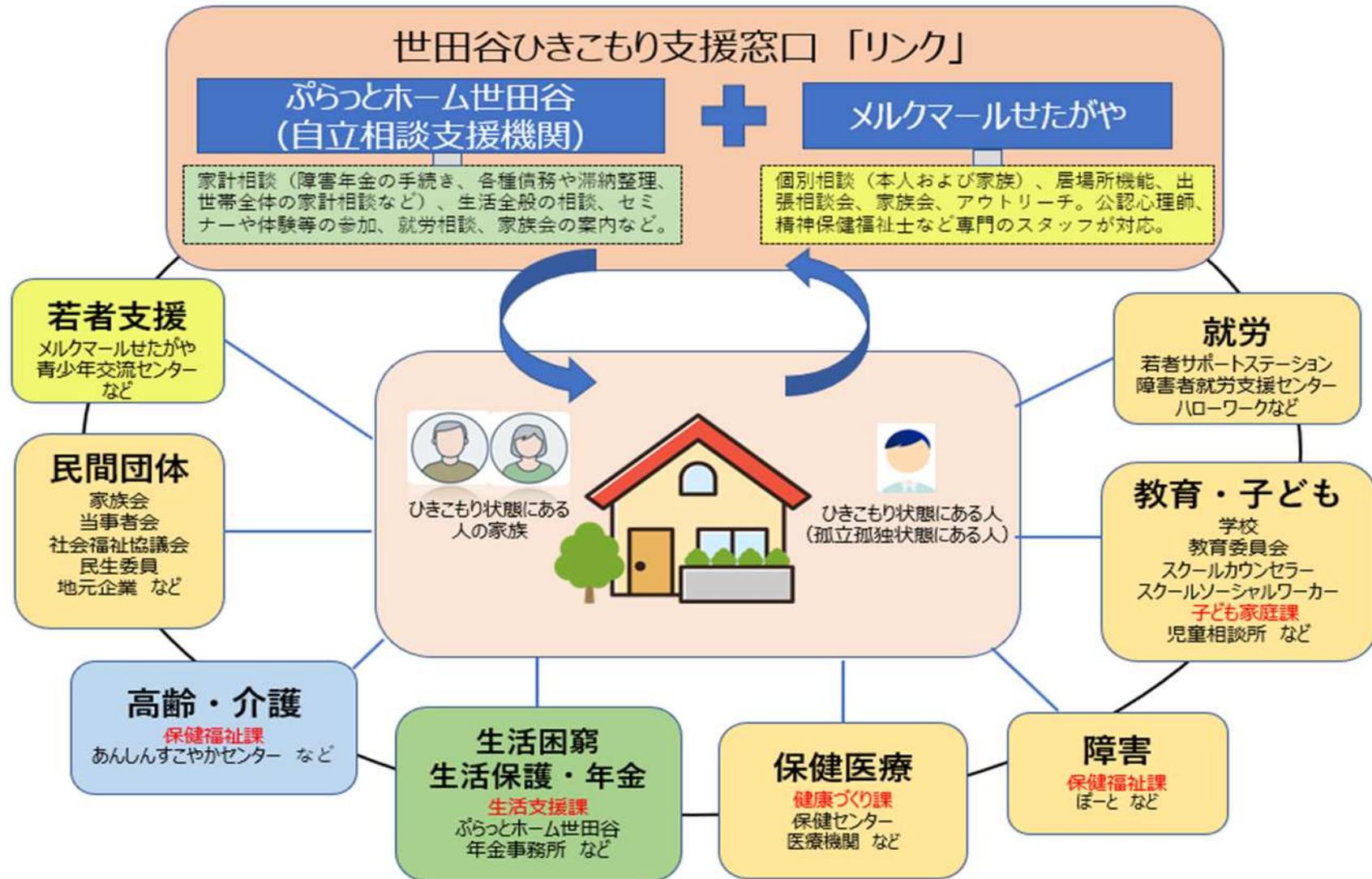
【特徴】

- 当事者が相談につながっている  
年齢層は、20代～50代と幅広い
- 50代の親の相談が最も多い
- 8050世帯、その予備軍の60代～  
80代以上の親の相談が26%

《窓口につながった相談者の属性と年齢》



# 《重層的な支援を行う、リンクの支援ネットワーク》





## 4 まとめ ~ 誰一人取り残さないために必要なこと ~

- 社会からの孤立・孤独は困りごとを醸成し、深刻・困難化させる。  
ゆるく、どこかとつながっていることが大切。  
身近な地域で相談を受け止め、つながり続ける仕組み
- 生活に必要な制度やサービスを組み合わせることは難しい。  
自分で申請、契約しなければサービスが利用できない制度の限界。  
必要とする人に福祉サービスに限らず、適切な支援が届く仕組み
- 制度の狭間が、当事者を疲弊させ、困りごとの解決を遠ざける。  
支援者が関係機関と連携・協働し、重層的に支援を行う体制

ご清聴ありがとうございました。



ぷらっとホーム世田谷